

氏名： 篠塚 英子 (SHINOTSUKA Eiko)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
学位： 商学博士 / Doctor of Commerce
職名： 教授
専門分野： 労働経済学、女性学、金融政策
E-mail： eikoshino@muc.biglobe.ne.jp

◆研究キーワード / Keywords

労働経済学 / ジェンダー論 / 金融政策 / 外国人労働 / 労働政策
Labor Economics / Gender Study / Monetary Policy / Foreign Labor / Employment Policy

◆主要業績

総数 (11) 件

- ・『少子化とエコノミーパネル調査で描く東アジア』(永瀬伸子と共編著) 作品社, 2008年3月
- ・『新テーマスタディ 家庭科』(篠塚英子編著) 東京書籍 2007年11月
- ・「女子学生のキャリア志向とグローバル社会への適応」『お茶の水女子大学人文科学研究』No.4 pp. 127-140、2008年3月
- ・「ダイアン・エルソン「新自由主義的なグローバル化とジェンダー平等」をめぐって」お茶の水女子大学21世紀プログラム：『お茶の水女子大学 F-GENS ジャーナル』No.10 pp.237-242、2008年3月
- ・「古典を読み、今を照らすーポラニーの視点から眺めた日本の社会経済ー」『ECO-FORUM』創立60周年記念特別号 Vol.25 No.3,4 (財団法人) 統計研究会、pp.6 - 15、2007年6月

◆研究内容 / Research Pursuits

新自由主義下で進行する日本経済の抱える諸問題のうち、労働問題やジェンダー論、さらに金融問題に焦点をあてて政策的対応のあり方、どのような運動展開が必要かなどを実証的に分析した。またCOEジェンダー研究のフロンティアの最終年度にあたり成果発表のための出版物編集執筆などが本年度の主要な研究であった。

◆教育内容 / Educational Pursuits

平成19年度で定年退職をするが、継続研究としてはCOEジェンダー研究のフロンティアで分析し調査実施によりデータ入手をしている下記について、分析が不十分なものがあり研究を継続する。①「労働組合とジェンダー研」(標本数約2000)、②「家族・家計・仕事における国際比較研究」北京調査データ(標本約2000)、③同ソウル調査データ(標本約1200)の事後分析。なお①については(財)連合総合開発研究所と共同研究ワークショップを20年度6月より開始し、関係者全員が参加している。

◆メッセージ

本学はジェンダー研究を大学院課程で開設している稀少な大学です。少子化問題、高齢化社会への対応、環境問題、格差社会問題などジェンダーの視点からの研究対応が期待されております。是非本学の研究科のジェンダー学際研究専攻をのぞいてみてください。また学部レベルでは文教育学部にグローバル文化学環コースが開かれており、このコースから修士課程のジェンダー社会科学専攻への研究への道もあります。